

# 学習だより

令和4年6月15日

1学期中間テストが終わりました。1年生は緊張した様子もうかがえましたが、どの学年でも一生懸命に問題に取り組んでいました。テスト後には、結果だけに一喜一憂せず、できなかった問題はきちんと振り返りを行い、できる問題を少しずつ増やしていくことが大切だご助言ください。



(質問教室1年生)

学校では、学習改善につながるように、主体的・計画的に学習していけることを指導しています。また、質問教室の開催や生徒会とも協力したテスト前の朝の学習の拡充など、意識付けや学力向上に向けた対策に取り組んでいます。なお、AIドリル(9教科)、デジタル教科書(現時点では国語、書写、英語)などの活用も充実させていきたいと思っています。

## 【全国学力・学習状況調査およびとちぎっ子学習状況調査】

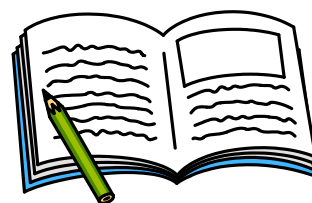
4月には全国学力(3年生)、とちぎっ子(2年生)学習状況調査を実施しました。今年度の結果については結果が届き次第、分析・検討し、改善につなげていきたいと考えています。

## 【授業の重要性】

すべての学習活動や課題に「自分から(主体的に)」という意識で臨むことが大切です。そして「予習」⇒「授業」⇒「復習」⇒「振り返り(テスト)」のサイクルの中で最も重要なのは「授業」です。

しかし、生徒が板書を写し、問題を解くという、受け身の状態では期待される授業の効果は上がりません。板書だけを書いたノートを見返して授業の内容を思い出せるでしょうか。口頭でしか伝えないことの中にも必要な内容がでてくることがあります。

また、人は単純な記憶の場合、1度覚えても次の日には7割忘れてしまうといえます。



学んだことを定着させるためにはノートや教科書を見返し、授業の内容を詳細に思い出すことが必要となります。

### ※ 1年生の保護者のみなさんへ

同様の内容を昨年度の第2号で掲載してあります。より詳細に記載してありますので、陽南中学校HPをご覧ください。

## 【AIドリルの活用について】

5月中旬にAIドリルが使用できるようになり、1か月が過ぎようとしています。課題として提示される場合以外にも、自分自身で得意な内容、苦手な内容を選んで取り組むこともできます。また、学校用、家庭用とあり、内容はほぼ同内容ですが、裏面にあるようにライブラリ内で若干の違いが見られます。ぜひ、上手に活用していきましょう。



右側が家庭版になります。左上に **家庭版** と書かれています。

### 【家庭学習について】

昨年度に引き続き、自主学習に力を入れて助言していきたいと考えています。基本的な考え方は、宿題・課題以外に、自分にとって必要なことに取り組む自主学習が大切ということです。2、3年生は昨年度の取組を一層充実させたり、工夫・改善を加えたりと主体的に取り組んでいきましょう。もし、方法等に悩んだ場合には、まずは担任の先生に積極的に相談してみましょう。1年生は小学校での取組を継続する中で、少しずつ改善していくと良いと思います。各教科の授業や学級活動を通して、助言をしていきますのでご家庭でもご協力をお願いします。生徒のタブレットの Classroom 内には「家庭学習の手引き」も掲示してあります。また、AIドリル内のサポートサイトには、下記のような内容以外にも保護者向けに書かれている内容もあります。ぜひ、参考に見てみてください。



(それぞれの学年に応じた取組方法が書かれています)

### 【1年生もスタート】

1年生全体で、スクールタクト(タブレット内のアプリ)を使ってみました。全員に同時に課題を提示し、リアルタイムで教員も生徒の思考過程を把握することができます。また、設定によっては友達同士での意見交換も可能になりますので、個別に臨んだり、協働学習に取り組んだり学習の深まりが期待できます。出身小学校によっては、ログインも初めての学校もありましたので、クイズや質問を通して使い方の確認だけでしたが、みんな意欲的に取り組んでいました。イーボード(授業動画や確認テスト)などもありますので、一度お子様と一緒にご覧になるのも良いと思います。